※記載例を参照の上、ご記入ください。

（様式第3号）

企業・団体名（　有限会社電算オフィスオートメーション　）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件２）【R5.9.5変更】

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組（県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目															
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働	□	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	差別の禁止については就業規則に明記している。 朝礼等で社長から差別の禁止について周知、徹底している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2		□	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	ハラスメントの禁止については就業規則に明記している。個別案件については社長が対応している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3		□	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	36協定を締結し、遵守している。 特定の人に集中しないように分散させている。								8.5 8.8									
4		□	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	【予定】現在外国人労働者は雇用してないが、将来雇用した場合は、差別・人権侵害が無い体制を構築していく。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5		□	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	長時間労働にならないように36協定を厳守している。 有休が取りやすい雰囲気を作っている。			3					8									
6		□	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	社内のコミュニケーションを良くし、相談しやすい環境を作っている。 個別案件が発生した場合は社長やアクサ生命さんに相談している。			3														
7		□	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	女性や高齢者が活躍できる環境を整えている。 今後は女性の比率を増やしていきたい。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8		□	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	社員の資格取得を奨励し、取得費用の全額を会社が補助している。 最新の技術取得のためにセミナー等に参加している。				4	5.5			8	9								
9		□	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	同一労働同一賃金の原則に沿った体制の整備・対応を行っている。					5.5			8.5		10.2 10.3							
10		□	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	年一回健康診断を実施している。 健康経営優良法人を取得している。			3					8									
11	環境	□	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	廃棄物処理法を厳守し、分別・リサイクルを行っている。マニフェスト等の管理を適切に行っている。											11.6	12.4		14.1			
12		□	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	自社の電気・ガス・水道の使用料を把握している。							7.3						13				
13		□	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	節電・節水に会社全体で取り組んでいる。 クールビズ・ウォームビスを導入している。							7.2 7.3					12.4	13.3				
14		☑	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	有害化学物質は取り扱っていない。			3.9			6.3					11.6	12.4					

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
15	環境	□	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	環境に配慮した材料・部品を調達している。 従業員が地域の清掃活動に参加している。						6.6									15		
16		□	【３Ｒの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	古いパソコンはデータを抹消した上で、リサイクルや再利用又は許可業者に処分を依頼している。												12.5		14.1			
17		□	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	自社の水道利用料を把握し節水を心がけている。						6.4 6.6											
18		□	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	現在ISO14001等の認証取得はしていないが、将来会社の発展状況に応じて検討してみたい。			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19		□	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	長野県SDGs推進企業登録制度に参加し、環境情報の開示に努めていく。												12.6					
20		□	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	オフィス照明をLEDに切り替えた。							7.2						13				
21		□	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	コピー時に再生紙や裏紙を活用している。 環境に配慮した文具品を調達している。												12.2	13	14	15		
22	公正な事業慣行	□	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	朝礼等で社長から汚職・贈収賄防止を社員に周知している。																16 16.5	
23		□	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	朝礼等で社長から不正競争行為の禁止を社員に周知している。																16	
24		□	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	業務の中で知的財産の保護の大切さについて社員に周知・徹底している。								8.2 8.3	9								
25		□	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	Pマークを認定取得し、個人情報保護に適切に対応している。																16	
26		▨	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	現在取り扱っていない。今後も取り扱わない方針。																16	
27		□	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	当社は元請け会社・下請け会社等と情報を共有し、環境への悪影響・ハラスメントの防止等に取り組んでいる。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
28		□	【パートナーシップ構築宣言】（R5.9.5～追加） ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本	【予定】現在パートナーシップ構築宣言はしていないが、将来必要に応じて考えていきたい。			3					8	9	10							17

※「パートナーシップ構築宣言」の作成・公表方法はこちら。https://www.biz-partnership.jp/

		非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
29	製品・サービス	□	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	当社はソフトウェア会社なので、依頼があれば取扱いマニュアル等を作成し、渡している。			3.9									12.4					
30		□	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	お客様と保守契約を締結し、アフターサービスをしている。損害賠償等に対応するために保険にも加入している。									9								
31		□	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	お取引先に対してデジタル化やDXを提案し、紙の削減・業務の効率化に役立つように取り組んでいる。						6						12	13	14	15		
32		□	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	長野県SDGs推進企業登録制度に参加し、社会課題の解決に努めていく。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
33	社会貢献・地域貢献	□	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	取引先は長野県の業者が多く、紙の削減・業務の効率化に繋がるようなソフトウェアの開発に努めている。				4					9		11	12		14	15		17
34		□	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	地域行事への寄付等により協力を行っている。 社員がPTA活動や地域の清掃活動に参加している。				4							11			14	15		17
35		□	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	資材部品の調達は地元企業を優先している。 地域の人材を雇用している。								8	9		11	12	13				
36	組織体制	□	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	経営理念の明文化をオフィスに掲示している。 朝礼等で理念を共有している。								8	9								17
37		□	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	法令遵守・コンプライアンスの厳守について就業規則に明記している。																16	
38		□	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	自社が社会・環境に及ぼす影響を把握し、必要な対応は社長が行っている。																16	
39		□	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	元請け会社・下請け会社等とコミュニケーションを図り、自社が及ぼす影響を把握し、適切に対応している。																16	17
40		□	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	Pマーク制度の中でリスクを特定・評価し、適切な対応を行っている。バグが発生した場合は原因究明を社内で共有している。																16	
41		□	【社会的責任】 ・ＣＳＲ（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	長野県SDGs推進登録企業に参加し、SDGs取り組み方針・目標に取り組んで行く。																16	
42		□	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	BCPの策定はしていないが、社員の連絡先を把握しており、安否確認システムを導入している。									9		11		13 13.1			16	
43		□	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	社長は30代とまだ若く、今後検討していく。								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】
・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、ＮＡＧＡＮＯものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

○ この「要件２」は、ISO26000（※１）、RBA（Responsible Business Alliance）（※２）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
○ 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は**黒字**、　間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、**赤字**で番号を記載
○ 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
※１…組織の社会的責任に関する国際規格　　※２…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定